

卒業生による講演会

3月20日（水）、終業式後に、「卒業生による講演会」を行いました。6名の卒業生と1名の既卒生が登壇し、今年の大学入試での体験を発表しました。1、2年生全員がアカシヤホールで卒業生の話に耳を傾けました。発表は、学習の工夫、部活動との両立に向けた努力、志望を固めたいきさつ、浪人生活についてなど、具体的なアドバイスに溢れ、1、2年生は皆、メモを取りながら熱心に聴き入っていました。



【発表者の合格大学紹介】

- 1、広島大学 教育学部 第二類 社会系コース
- 2、神戸大学 経営学部 経営学科
- 3、広島大学 理学部 数学科
- 4、九州大学 芸術工学部 音響設計学科
- 5、九州大学 工学部 地球環境工学科
- 6、広島大学 総合科学部 国際共創学科
- 7、名古屋大学 農学部 応用生命化学科

【発表内容から】

- 日々の授業、定期考査をとにかくきちんとやる。
- 丸暗記ではなく、仕組みを理解して覚えた。
- 先生方には他の大学も十分狙えるといってもらえたが、将来の目標を見据えて第一志望を貫いた。
- 自分が思う最強の勉強法は「人に聞く」「人に教える」「人と一緒に学ぶ」ことだと思う。特に人に教えるようにすると、わかっていると思うことが不十分であることがわかった。
- 勉強して身につく知識に無駄なものは無いと思って下さい。
- 部活引退後は朝型に変えて、学校が始まる前に90分の勉強時間を確保した。
- 長距離通学の方は、電車やバスの通学時間を有効に利用してください。
- 塾には行かずに学校で勉強した。わからないときは長時間悩まずに、友人や先生に聞けるので便利。
- 朝に集まって勉強するグループを友人で作った。その他にも放課後勉強グループなど、一緒に頑張るのがよかった。
- 部活を引退するまでは、学校の部活とクラブチームの練習で毎日21:30頃の帰宅になっていた。忙しかったけれど、宿題だけは必ず（他人のを写したりせず）自分でやることにしていた。
- 受験勉強は「質より量」の部分もあると思う。
- 授業の小テストを直前の短期記憶で乗り切っても自分の力にはなっていない。自分は小テスト前の勉強をせずともクリアできるように工夫した。
- （部活との両立）部活は最後までやりきるべき。
- スマホには良いアプリもたくさんある。英単語や熟語、また、勉強時間管理のアプリを友人と共有して、お互いに励ましあいながら頑張った。もちろん、インスタ、フェイスブック、動画などは受験には不要です。
- 友人と難関大の入試問題をゲーム感覚で出し合ったりして、お互いに競い合った。
- 得意科目を作るのも大切だが、苦手科目を作らないことも大切。自分は本番で得意の物理を失敗したが、数学、英語で得点できたのが大きかったと思う。
- 教科の選択はしっかり考える。自分は理系で地理と世界史で悩んだが、最後に世界史に決めて頑張れた。センターも9割以上とれた。周りに流されずに、自分の勉強したいものをしっかり見つける。
- 問題の本質を見抜く練習をした。
- 物理の公式が与えられても、なぜその公式になるのかをじっくり考えた。
- 最初は第一志望に合格できず、私大理系は学費も高いこともあり県外の私立大文系学部に進学したが、自分のやりたいことをどうしてもやりたくなり、親に無理を言って浪人させてもらった。そうならないように慎重に進路先を考えて欲しい。